

教育センター事業
令和2年度の取組・経過報告

焼津市教育センター

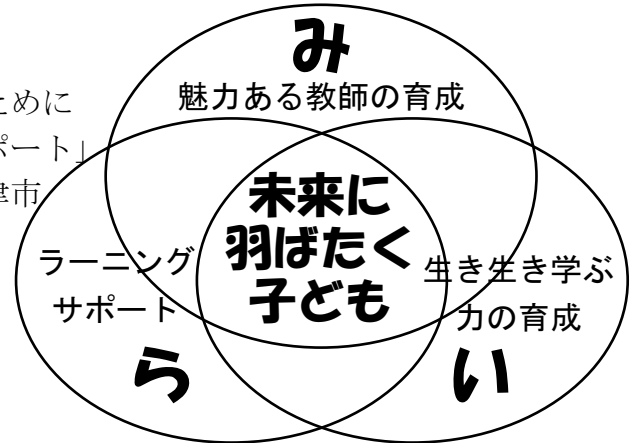
1 教育センター事業の目的

焼津市立学校の教育力の向上を図る。

下線部は前年度と変更があった点

2 事業の基本方針

未来にはばたく子どもたちを育成するために「魅力ある教師の育成」「ラーニング・サポート」「生き生き学ぶ力の育成」を推進し、焼津市の教育力向上を図る。



3 魅力ある教師の育成 ㊦

(1) 教師力強化事業

ア 授業力向上研修～若手講師指導～

学校訪問による指導 一人当たり年間5～7回〈継続〉

一斉研修会 年2回(8/5、11/30)〈継続〉

(ア) 本年度の取組(8月7日まで)

・対象教員21名

・学校訪問による個別指導 延べ28回

アンケート:「学校訪問による指導」はとても役に立っている・役に立っていると回答100%

・一斉研修(8/5 第1回)

アンケート:「講義・演習」は大変役に立った・役に立ったと回答93%

「グループ討議」は大変充実していた・充実していたと回答100%

イ 教職経験2年目教員パワーアップ研修

学校訪問による指導 一人当たり年間3回〈拡大〉

一斉研修会 年間2回〈継続〉

(イ) 本年度の取組(8月7日まで)

・対象教員20名

・学校訪問による個別指導 延べ20回

・一斉研修会(法定) 7/2 静浜幼稚園下藤分園

(イ) 令和3年度の見込

・対象教員が2名増

ウ 教職経験3年目レベルアップ研修

学校訪問による指導 一人あたり年間3回〈拡大〉

(ウ) 本年度の取組(8月7日まで)

・対象教員12名

・学校訪問による指導 延べ12回

(イ) 令和3年度見込

・対象教員が8名増

・一斉研修会年2回（法定）慈恵園・虹の家

※管理職アンケート（7月末）

「訪問による指導（講師、2,3年目）は研修員の授業改善や学級づくり等に役立っていますか」→「とても役に立っている」と回答100%

エ 希望による訪問研修 学校の要請により校内の研修会への指導助言〈継続〉

(ア)本年度の取組・要請

- ・大富小学校 「学習評価研修」（6／10）
- ・焼津西小学校「学習評価研修」（8／26 予定）
- ・和田小学校 「学習評価研修」（未定）

(イ)今後の見込

今年度は小学校、来年度は中学校で新学習指導要領本格実施であり、大きく変わった「学習評価」の研修について、多くの要請が見込まれる。

4 ラーニングサポート（授業・学習支援）㊦

(1)授業・学習支援事業

ア 授業支援関係〈継続〉

支援を希望する学校に対して、退職教員等による授業中の児童・生徒のサポートを行う。学校の要請に応じて教育センターが調整し、ボランティアを派遣する。

(ア)本年度の取組（7月末まで）

現在、要請はないが、要請があれば可能な限り応じていく。

イ 学習支援（放課後学習支援教室：ステップアップ教室）〈拡大〉

小学校3年生を対象にし、各学校を会場（9校）〈拡大〉にした放課後学習を行う。

（全8回）算数のつまづきに寄り添い、センター職員、学習支援ボランティアが指導支援を行う。ディスカバリーパーク焼津と連携し、各校1回理科講座を開催する。

(ア)本年度の取組（8月7日まで）

- ・東益津小を追加し、前期5校、後期4校 開催
- ・定員については2学級までの学校は24人、3学級以上の学校は32人（先着順）
- ・市のホームページの応募サイトにより募集
- ・各校8回開催。

前期（6～10月）		後期（11～2月）		合計
大井川東小 24人（7回）	28回	焼津南小 24人（8回）	40回	68回
大井川西小 24人（7回）		黒石小 32人（8回）		
大富小 32人（7回）		小川小 32人（8回）		
東益津小 32人（7回）		港小 32人（8回）		
		和田小 24人（8回）		

※休校で日程変更のため前期は7回に

延べ9回開催 前期参加児童延べ171名

「とても楽しかった」「楽しかった」と回答した児童97.7%

(イ)令和3年度以降の構想

令和3年度は11校、令和4年度は全13校開催〈拡大〉

ウ サマーステップアップ教室

夏休みの課題や苦手な教科について支援することで、基礎学力や学習意欲の向上を図る。

(ア) 本年度の取組

- ・全小学校の6年生を対象に5公民館で実施〈拡大〉
- ・6中学校の1年生を対象に5つの会場で実施〈拡大〉
- ・豊田中を追加（豊田公民館会場を追加）
- ・3つの公民館で小中同時開催。（小中2部屋確保する）下表の★

27	月		大富中学校
28	火	小川公民館	大富中学校
29	水	小川公民館	
30	木	焼津公民館	和田公民館★
31	金	焼津公民館	和田公民館★
1	土		
2	日		

3	月		東益津中学校
4	火	大井川公民館★	東益津中学校
5	水	大井川公民館★	
6	木	豊田公民館★	
7	金	豊田公民館★	
8	土		
9	日		

小川公民館は（小川小、黒石小、大富小） 焼津公民館は（東益津小、焼津東小、西小、南小）

大井川公民館★は（大井川中）（大井川東小、西小、南小）

和田公民館★は（和田中、港中）（和田小、港小） 豊田公民館★は（豊田中）（豊田小）

※夏休み短縮のため今年度中止

(2) 外国語指導助手配置事業

ア 外国語指導助手（ALT）の派遣

(ア) 本年度の取組〈拡大〉

- ・小学校3年生には小学校ALTを派遣。年間35時間の全授業に配置。
- ・小学校4・5・6年生には、派遣業務委託(株式会社インタラック関西東海)のALT12名を配置（本年度3名増員）
小学校4年生の年間35時間、5・6年生の年間70時間の全授業に配置。
- ・特別支援学級には各校10時間の外国語授業に小学校ALTを配置
- ・中学校ALTは中学校専任で3名配置し各校を巡回

(イ) 令和3年度以降の構想

中学校ALTの増員し、中学校英語の充実を図る。〈拡大〉

イ 小学校外国語活動研修会の実施〈継続〉

「英語ブラッシュアップ研修」各小学校で年1回実施、派遣委託先ALTトレーナーによる教員対象研修

(ア) 本年度の取組（7月末まで）

5校（豊田小、小川小、大富小、和田小、大井川東小）で開催

延べ125人の教員参加「大変満足」「満足」と回答100%

5 生き生き学ぶ力の育成

(1) 特別支援教育事業

特別支援教育の推進に向けて、特別支援教育連絡協議会（年3回）や特別支援教育支援員等研修会（年3回）、専門家チーム会議（年3回）を開催する。また、各校の要請により巡回相談員を派遣し、検査や特別支援教育についての助言を行う。

〈継続〉

- ア 本年度の取組（7月末まで）
- ・特別支援教育連絡協議会（5/8 第1回）
 - ・特別支援教育支援員等研修会（4/3 第1回 7/15 第2回）
 - ・専門家チーム会議（5/27 第1回）
 - ・巡回相談 260 件程度（年間）

- イ 令和3年度の見込
- ・特別支援教育連絡協議会全3回開催
 - ・特別支援教育支援員等研修会全3回開催（講師：市内言語・発達通級担当者）
講師を増やし、より内容、形態を工夫し充実した研修を行う。
 - ・専門家チーム会議全3回開催予定
 - ・巡回相談 260 件程度

(2) 就学支援事業

障害のある幼児、児童、及び生徒の適正な就学支援を行うため、教育、医療、福祉等の委員から構成された焼津市就学支援委員会を置き、継続的に就学支援を行う。

〈継続〉

- ア 本年度の取組
- ・就学支援委員会（6/3 第1回）
 - ・就学支援小委員会（9/17.18）
 - ・審議対象者数 70 程度（年間）
- イ 令和3年度の見込み
- ・就学支援委員会全3回開催
 - ・就学支援小委員会1回開催
 - ・審議対象者数 80 から 90 程度 〈拡大〉

(3) 外国人児童生徒支援事業

市内小中学校に通う、外国語を母語とする児童生徒の学校生活への適応のために、外国人児童生徒支援員による以下の支援を行う。

- ・新たに来日等して小中学校に就学する児童生徒に対しての、日本語の初期指導・初期適応支援〈継続〉
- ・外国語を母語とする児童生徒への継続した学習支援や適応支援〈継続〉
- ・面談時の保護者への通訳、通知等の翻訳等の対応〈継続〉

- ア 本年度の取組（8月7日まで）
- ・初期指導、学習支援等のための市内各小中学校への派遣時間数 週 220 時間
 - ・面談通訳のための市内各小中学校への派遣時間数 70 時間
 - ・外国ルーツ新1年生対象プレスクール 全8回（大井川南小）
 - ・外国人児童生徒支援員研修会（4/6 第1回 7/29 第2回）
 - ・外国人児童生徒教育加配教員・担当者・支援員研修会（4/7 第1回）
 - ・外国人児童生徒教育支援コーディネーターによる学校への助言

- イ 令和3年度の見込
- ・初期指導、学習支援等のための市内各小中学校への派遣
 - ・面談通訳のための市内各小中学校への派遣

- ・就学時健診時における就学ガイダンス（10.11月）
- ・外国ルーツ新1年生対象プレスクール（会場校増 検討中）
- ・外国人児童生徒支援員研修会全3回開催
- ・外国人児童生徒教育加配教員・担当者・支援員研修会全3回開催
- ・外国人児童生徒教育支援コーディネーターによる学校への助言

6 教育センター事業拡充（令和3年度以降）に向けて

令和2年度の取組

(1) 焼津市教育の指針 検討

教育センターが焼津市の学校教育の拠点となるべく、国や県の動向を踏まえながら、焼津市の学校教育が進むべき方向を研究し、「焼津市教育の指針」を示していく。

(2) 情宣・広報

- ・ステップアップ教室、ALTの配置について広報やいづに掲載
- ・小学校の英語授業本格実施に合わせてALTの活躍を新聞等で報道

(3) 施設・設備の整備

庁舎の利用可能な部屋、設備を確認し、整備計画を立て、進める。

(4) 初任者研修、2，3年次研修、中堅研修

今年度より初任者研修、2年次研修の教育センターによる実施
3年次研修、中堅研修は令和3年度より教育センターによる実施予定。

(5) みらい講座準備

他市の施設等の視察及び県内大学等との連携の模索
その他、開催内容について検討

(6) みらいホール準備

書籍（教育雑誌）の購入計画を立てるとともに、資料収集

(7) みらいアカデミー準備

他市の教師塾等の視察及び開催内容の概要立案

(8) ALT配置計画の検討

ALTの配置や雇用を今後どのように進めるか検討する。

(9) 適応指導教室事業、特別支援教育推進事業準備

学校教育課内や他課と協議し、学校教育課との業務の分担や連携について決めていく。

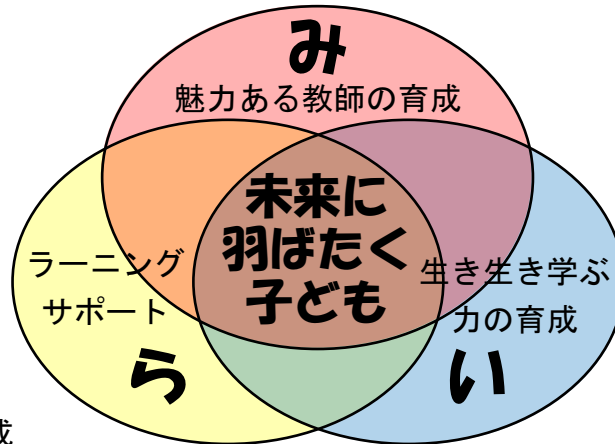
(10) 外国人児童生徒支援事業

研修会に参加するとともに、日常業務についても協働して掌握していく。

焼津市教育センター 「みらい」 指導担当・育成担当・特支担当

1 事業方針

未来に羽ばたく子どもたちを育成するために、「魅力ある教師の育成」「ラーニング・サポート(授業・学習支援)」「生き生き学ぶ力の育成」を推進し、焼津市の教育力の向上を図る。



(1) 魅力ある教師の育成

焼津市の教育の方針をしめし、各校や教員への指導を行う。

若手教師の育成や、教職員の自主参加型研修、将来教員を志す人材の育成事業を展開し、**魅力ある教師の育成**を推進する。

- ・教師力育成事業（法定研修含む）
- ・教職員自主研修事業
- ・みらいの先生育成事業 等

(2) ラーニング・サポート(授業・学習支援)

子どもたちの学習を支援する「ステップアップ教室」や、授業づくりを支援する校内研修支援、外国語指導助手配置等を実施し、**ラーニング・サポート(授業・学習支援)**を推進する。

- ・学習支援事業（ステップアップ教室・サマーステップアップ教室）
- ・授業支援事業
- ・外国語指導支援事業
- ・ICT教育推進事業 等

(3) 生き生き学ぶ力の育成

適応指導教室や通級指導教室の設置、外国人児童生徒への支援体制を整備し、どの子にとっても**生き生き学ぶ力の育成**を推進する。

- ・特別支援教育（通級指導教室）事業
- ・外国人児童生徒支援事 等

センター合言葉：日本一の教育センター「みらい」

- ・足を運ぶ（授業支援・校内研修支援・ステップアップ教室）
- ・百人力（指導員5人、ALT16人、学習ボランティア33人
通級指導教室支援員4人、外国人児童生徒支援員42人）

3 事業内容

(1) 魅力ある教師の育成

① 市教委訪問や市指定学習指導研究発表会

焼津市の教育の方針を示し、各校や教員への指導を行う。

② 教師力育成事業（法定研修含む）

ア 若手講師授業力向上研修

- ・経験年数の少ない若手講師を対象に、学校訪問による指導を行う。授業力向上に向けた指導を中心に、学級経営、生徒指導などについて指導を行う。
- ・若手講師を対象に、年2回の一斉研修を実施する。
第1回（8月）では、「授業づくり」をテーマに演習やグループワークを行う。
第2回（11月）では、「教師のやりがい」をテーマに講演やグループワークを行う。

イ 初任者研修、2年次・3年次研修、中堅研修（法定研修）

- ・教師としての心構えや学習指導、生徒指導、学級経営について演習を交えた研修を行う。
- ・教員としての視野を広げる体験活動研修や授業づくり研修を行う。

ウ 2年目教員パワーアップ研修・3年目教員レベルアップ研修

- ・学校訪問による指導を行う。授業力向上に向けた指導を中心に、学級経営、生徒指導などについて指導を行う。

③ 教職員自主研修事業

ア みらい講座

教職員のニーズを基に、自主参加型の講座を開催する。原則として金曜日の午後6時から8時までの2時間程度のものとする。

研修名	回数	研修内容等
授業づくり講座	3	① 授業の基礎技術研修（発問・指示・板書） ② 授業づくり（小）講義・演習 ③ 授業づくり（中）講義・演習
道徳科授業講座	1	道徳科授業づくりの講義・演習
特別支援教育講座	1	配慮が必要な子供へのかかわり方
情報教育講座	2	① ICT活用基礎研修 ② 焼津市ICT授業モデル講座
生徒指導・学級経営講座	3	① 学級づくりの基礎 ② 子供のアセスメントと個別の指導計画 ③ 不登校の「未然防止」「早期発見・早期対応」

イ みらいホール

教育関連図書（各社の教科書、資料集及び教育雑誌等）やパソコンを整備し、○曜日の夜間、市内小中学校の教職員に開放する。また、自主研修会の開催などの要請に応じてみらいホール等センター内のスペースを貸与する。

④ みらいの先生育成事業（みらいアカデミー）

次年度の教職員採用試験を受験する意志がある講師や講師希望者、大学生・大学院生を対象に、金曜日（土曜日）の夜間に「みらいアカデミー」を開設する。教職員としての基本的な知識や技能を身に付けるための講座や演習を行う。また、自主参加型の学習会を行う。

月	実施内容
10月	① 開講式 人生講話 教職教養演習① ② 教職教養演習②
11月	① 教職教養演習③ ② 講話「先輩から学ぶ」 ③ 学校参観・事後研修
12月	① 授業づくり講座 ② 講話「先輩から学ぶ」
1月	① 教職教養演習④ ② 授業づくり講座 ③ 教職教養演習⑤
2月	① 講話「先輩から学ぶ」 ② 人生講話

月	実施内容
4月	① 授業づくり講座 ② 教職教養演習⑥
5月	① 講話「先輩から学ぶ」 ② 教職教養演習⑦ ③ 教職教養演習⑧
6月	① 教職教養演習⑨ ② 人生講話 ③ 学校参観・事後研修
7月	① 教職教養演習⑩ ② 講話「先輩から学ぶ」 ③ 閉講式
8月	一次試験合格者への指導

(2) ラーニング・サポート(授業・学習支援)

① ステップアップ教室

小学校3年生の希望者を対象に、放課後の空き教室を利用して算数の学習支援を行う。定員を2学級までの学校は24人、3学級以上の学校は32人とし、前期(6～10月)と後期(11月～2月)に分け、月2回(計8回)実施する。

令和元年度：前期5校、後期3校、計8校で実施

令和2年度：9校で実施

令和3年度：11校で実施

令和4年度：全13校で実施

② サマーステップアップ教室

小学校6年生と中学校1年生を対象に、公民館や中学校を会場として夏休みの宿題や自主学習の学習支援を行う。定員を30人程度とし、2回ずつ実施する。(令和元年度：全小学校を対象に公民館3会場で、5中学校を対象に中学校4会場、公民館1会場で実施)

学習支援ボランティアとして、地元高校生の活用を図る。

③ 授業支援事業

ア 希望訪問研修

校長による推薦または本人の希望、校内研修における要請により、訪問による授業参観・助言指導や相談等を行う。学校の要請に応じて柔軟に実施する。

イ 授業・学習支援

支援を希望する学校に対して、退職教員等による授業のサポートを行う。学校の要請に応じて学習ボランティアを派遣する。

④ 外国語指導支援事業

ア 外国語指導助手（ALT）の派遣

- ・ 小学校 市で雇用する4人のALTと、派遣業務委託の9人のALTを配置し、市内すべての小学校を巡回する。年間を通して決まった曜日に決まった学校に勤務し、小学3,4年生は年間35時間、5,6年生は年間70時間の授業をTTで行えるよう派遣する。また、市で雇用するALTには各校年間10時間の打合せ時間を確保し、さらに特別支援学級で各校年間10時間の授業をTTで行えるようにする。
- ・ 中学校 派遣業務委託の3人のALTを配置し、市内すべての中学校を巡回する。

イ 小学校外国語指導研修会

各小学校の担当者等を対象に、年3回の一斉研修を行う。

ウ 英語ブラッシュアップ研修

各小学校で、業務委託先ALTトレーナーによる教員対象の研修を行う。

⑤ ICT教育推進事業

情報教育推進委員会と連携し、教職員の情報教育実践力や情報機器活用能力、情報モラル意識の向上に関する研修を行う。

(3) 生き生き学ぶ力の育成

① 特別支援教育（通級指導教室）事業

通級指導教室を運営し、障害等により集団での生活や学習に困り感のある子どもを対象に、通常の学級に所属しながら、困り感の改善・克服に必要な指導を行う。

② 外国人児童生徒支援事業

焼津市に暮らす外国人児童生徒のニーズに応じた支援を行い、焼津市の学校へのスムーズな就学及び、安定した学校生活に向けた支援を行う。

ア 日本語指導教室（MIRAI 日本語教室）

学校生活への適応に課題を持つ外国人児童生徒に、日本語の初期指導や学び直しを行う。

イ 外国人児童生徒支援員の派遣

外国人児童生徒支援員を派遣して、外国人児童生徒の実態に応じた日本語指導、学習支援、相談活動を継続的・計画的に行う。

ウ プレスクール

市内小学校に入学予定の幼児に、小学校生活にスムーズに適応できるよう、日本語の初期指導や学校生活の体験等を行う。

エ 外国人児童生徒相談活動

外国人児童生徒の学校生活や学習、進路等について、その保護者や教職員に対して相談活動を行う。